

「第20回 エコプレミアムクラブ シンポジウム」

一般社団法人太陽光リユース・リサイクル協会
代表理事 濱田 篤介
2023年 8月 9日



Solar Panel
Reuse and Recycling
Association

© Copyright Solar Panel Reuse and Recycling Association All Rights Reserved

1、太陽光リユース・リサイクル協会（SP2R）について

◆理念

2012年の再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)の開始を契機として、太陽光発電パネルの導入が急速に拡大している中、当協会では適切な使用済みパネルのリユース・リサイクル促進のため、様々な啓発活動を行う。関係省庁及び地方自治体の**カウンターパート**としての役割を担うため、リユース・リサイクル業者だけでなく、発電事業者、太陽光パネルメーカー、リサイクル装置メーカー、ガラスメーカー、学術研究者などの様々な主体と連携し、課題解決に向けた幅広い活動を展開し、使用済みパネルの**適切なリユース・リサイクルスキーム確立**することを目指す。

◆主な活動

- (1) **法整備・規制による適正処理の促進**
- (2) **新たなリユース・リサイクル技術の研究・開発**
- (3) リサイクル資源（ガラス・バックシート等）の**基準づくりと付加価値向上のための研究・開発**
- (4) 太陽光発電にかかる全てのステークホルダーによる**連携**
- (5) **適切なリユース・リサイクル促進のための普及啓発活動等**

◆ **設立日** 2022年11月1日（登記上） 事実上の設立総会 2023年5月29日

◆ **会員数** 23社（2023年7月31日時点）

発電事業者及びO&M事業者：丸紅株式会社、大和エネルギー株式会社、株式会社エネテック、株式会社サニックス

リサイクル事業者及びメーカー：株式会社丸山喜之助商店、J & T 環境株式会社、株式会社新菱、近畿電電輸送株式会社、株式会社浜田株式会社高良、ハルタ金属株式会社、株式会社こっこー、桜木総建株式会社、株式会社チヨダマシナリー株式会社宮城衛生環境公社、加山興業株式会社

その他関係事業者：TREホールディングス株式会社、TREガラス株式会社、株式会社アンカーネットワークサービス、株式会社藤巻建設太陽光メンテナンス協会、エコスタッフ・ジャパン株式会社、東京海上日動火災保険株式会社

すなわち、**関係各主体が連携協力、協働することによって、使用済み太陽光パネルの効率的で適正な2R**を促進する。

つまり、**SDGsの第17番目パートナーシップ**の実現！

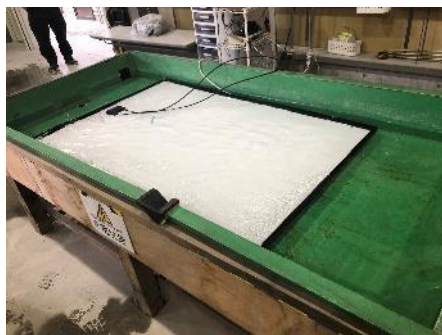
2、適正なリユースを目指した課題解決に向けて

<ポイント>

- ・リユース品の基準設定（外観・能力検査など）
- ・不適切な業者による輸出を規制
- ・売却側のリユース意識の向上と売却先の調査
- ・リユース品の検査事業への助成制度

<能力検査例>

絶縁検査



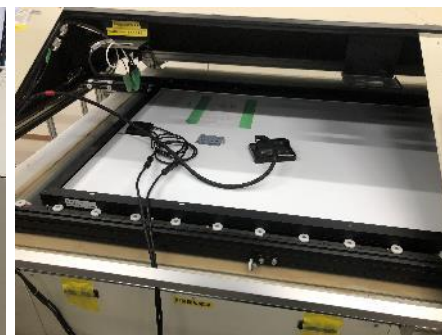
近畿電電輸送(株)提供



(株)デンケン提供

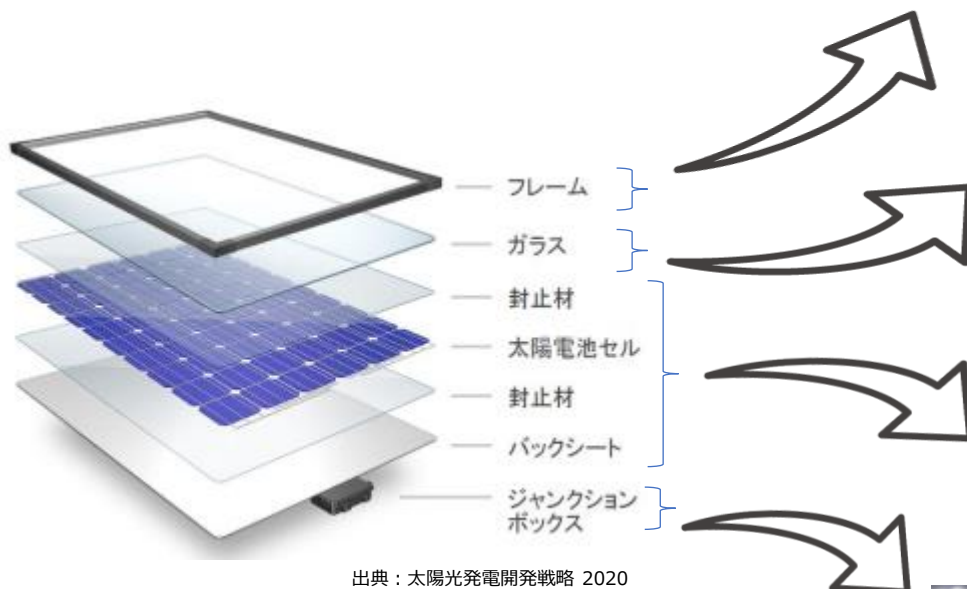


近畿電電輸送(株)提供



3、リユース・リサイクルに関する現状と課題

どの処理方式でも大まかに4種類に分別



封止材	EVAなど
セル	シリコン、窒化シリコン
フィンガー電極	銀など
バスバー	銀、銅など
セルコネクター	銅、錫、鉛など
封止材	EVAなど
バックシート	ポリエチレンテレフタレートなど

ジャンクションボックス	ポリフェニレンオキサイド、銅など
ケーブル	ポリ塩化ビニル、銅など
ケーブルコネクター	ポリフェニレンオキサイドなど

4、適正なりサイクルを目指した課題解決に向けて-ガラスについて-

<現状な主な用途>



出典：タイガーチヨダマテリアルHP

出典：アサヒファイバーグラスHP

出典：タイガーマシン製作所

<課題>

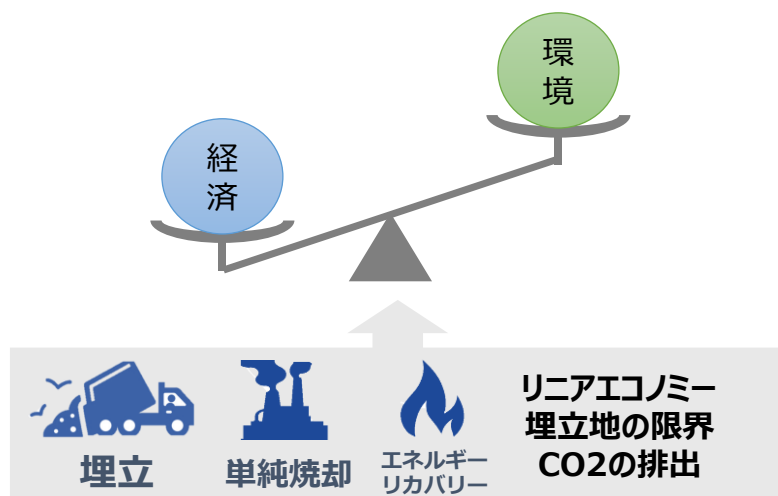
- ・ガラスメーカー側にPVガラスとして受入基準が定まっていない
- ・ヒ素、アンチモンが含まれた廃ガラスを使用するメーカーに及ぼす影響
- ・太陽光パネルに使用されるガラスは、ソーダ石灰ガラスだが、中には化学強化されたガラスが使用されているケースがある
- ・リサイクルガラスカレットの流通価格

5、適正なりサイクルを目指した課題解決に向けて

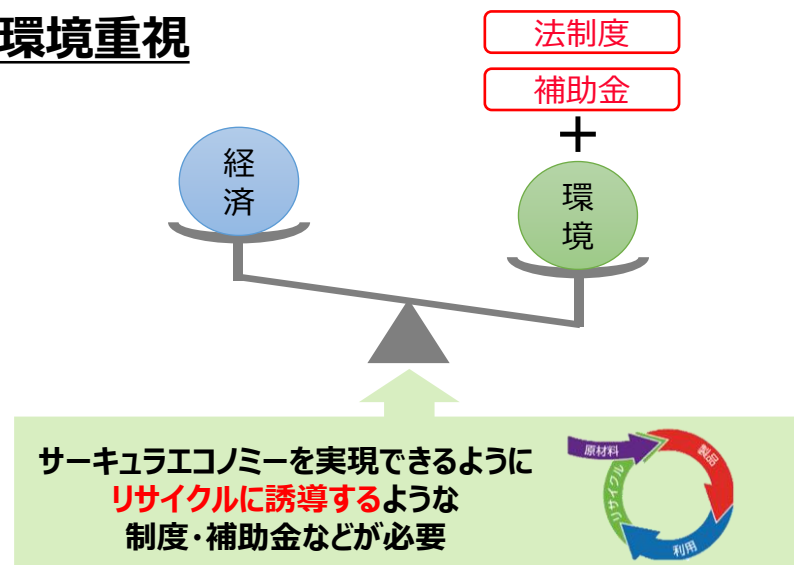
<ポイント>

- ・リサイクルを推進する法律設定が必要
- ・廃棄情報や適正なりサイクル先等の情報共有ができるデータベースの構築や公開
- ・ガラスメーカー側にPVガラスとして受入基準を定める
- ・公的機関のヒ素やアンチモンの溶出見解を定義する必要がある
- ・処理後物の再生材の流通に必要な経済性
- ・リサイクル後の再生品に関する現在のリサイクルルート以外の活用先の開拓、研究

経済性重視



環境重視



ご清聴ありがとうございました！